

がんばれ!

さわやか 明中生

この気持ちをぶつけて

ぼくは、応援団をやって学んだことがあります。始めはとても恥ずかしくて声や動きが小さくなってしまったけれど、やっていくたびに恥ずかしくなくなってきました。本番前に10分間練習時間があり、その時間で「3・3・7拍子」と「オス連呼」を練習しました。失敗しないかとても緊張していました。始まると、緊張はしましたが恥ずかしくはありませんでした。終わった後は疲れたけど全力を出してできました。この気持ちを支所予選で闘う3年生にぶつけて応援したいです。

1-1



【応援団による三・三・七拍子】

全力で応援します

私は、始め応援団として先輩方を後押しする自信がありませんでした。でも、練習をしていくうちに上達していく自信もつき、1、2年生の代表として先輩方を応援することができました。すごく緊張したけれど、終わった後は色々な先生にほめていただき、3週間練習してきて良かったと思えました。最後までやり遂げたことが自分の自信になったと思います。応援団を通して、成長することができました。この経験を次に活かすとともに、支所予選でも全力で応援します。

2-4

